

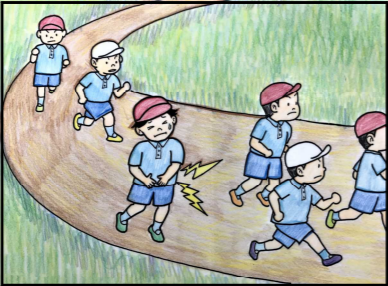
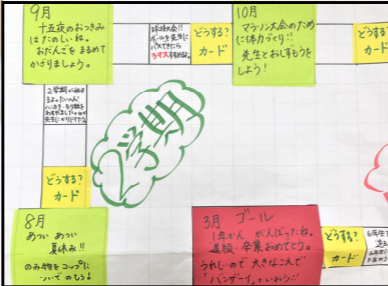
手立て4 手立て1～3を活用した授業実践

授業実践の中で、指導目標の達成を目指して活用した教材等を紹介します。

実践1 教科と合わせず単独で位置付けた類型例

【題材名】 こんなときはどうしたらよいか (全3時間)


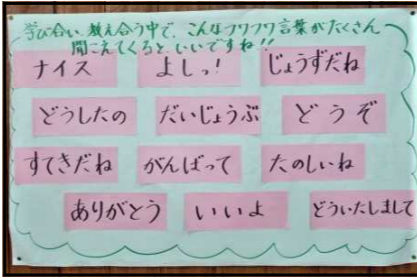
【指導目標】 分からないことや困っていることを伝えることができるようにする。

<p>きょうの よてい</p> <ul style="list-style-type: none"> えをみて かんがえよう おとあて ゲーム やってみよう ふりかえる かつどう 	 <p>絵カードを手掛かりにして、困っていることがあったときの援助要請の方法を考えることができました。児童が自分の学習や生活場面の中で、想起しやすい絵を提示しました。</p>	 <p>すごろくゲームのマスの中には、援助要請が必要な場面を設定しました。その他のマスは、自立活動における個別の指導計画シートにおける具体的な指導内容を基に作成しました。</p>
---	--	---

実践2 教科と合わせず単独で位置付けた類型例 + 体育科に位置付けた類型例

【題材名】 気持ちのコントロール名人になろう (全3時間)

【指導目標】 気持ちが落ち着かなくなったときの対処法を考え、実際の生活や学習場面に活用できるようにする。

 <p>目隠しをし、友達言葉による誘導で福笑いを完成させる協力福笑いゲームを作成しました。お互いに優しい言葉をかけ合いながら活動することができるよう、この時間は、グループでの活動時間を設定しました。</p>	 <p>児童が表出した優しい言葉を色付きの発泡スチロールに置き換え、透明な瓶の中にためていきました。児童の心の中にはたくさんの優しい言葉があることを量的に可視化しました。</p>	 <p>児童が自立活動で学んだことを交流及び共同学習における体育の学習時に、壁面に掲示しました。児童が、体育の学習の中でも、自立活動の目標を意識して活動することができるようにしました。</p>
--	--	--

研究内容や自立活動ガイドブックは、当センターのWebページに掲載しています。

<http://www1.iwate-ed.jp/kankou/kkenkyu/176cd/r02tyou.html>



自閉症・情緒障がい特別支援学級における教育課程の適切な実施に関する研究

— 教育活動における自立活動の効果的な取組を通して —

【研究担当者】 長期研修生 阿部 ゆか
(所属校 盛岡市立月が丘小学校)

【この研究に関する問い合わせ先】
TEL 0198-27-2821 FAX 0198-27-3562
E-mail sien-r@center.iwate-ed.jp

I 研究の構想

小学校の教育課程の内容は、各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、外国語活動、特別活動です。小学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級には、自立活動を取り入れることが規定されています。よって、小学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級には、小学校の教育課程に自立活動を加えた教育課程を編成することになります。

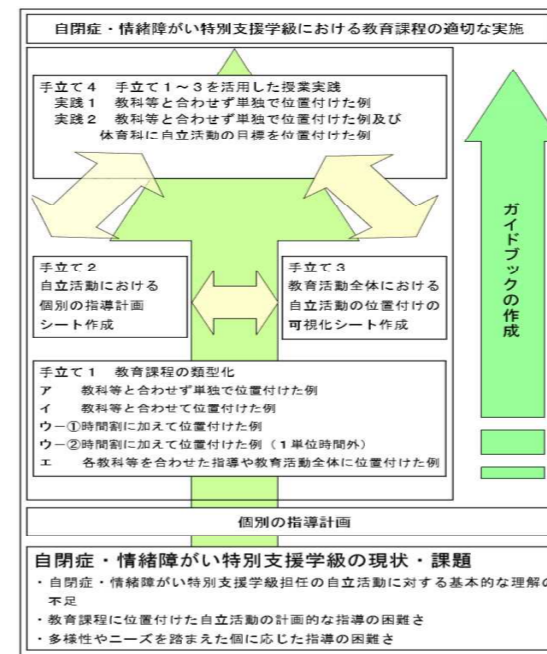
しかし、小学校の自閉症・情緒障がい特別支援学級における自立活動を加えた教育課程の実施に当たっては、以下の課題も挙げられています。

- ・自閉症・情緒障がい特別支援学級担任の自立活動に対する基本的な理解の不足
- ・教育課程に位置付けた自立活動の計画的な指導の困難さ
- ・多様性やニーズを踏まえた個に応じた指導の困難さ

これらの課題を踏まえ、「自閉症・情緒障がい特別支援学級における教育課程の適切な実施」に向け、手立てを下図の4点として、研究を進めました。

「教育課程の適切な実施」の捉えについて

- ・自立活動を位置付けた教育課程が組まれている。
- ・児童の実態から「自立活動における個別の指導計画シート」が作成されている。
- ・教育活動全体における自立活動の位置付けが明確になっている。
- ・自立活動における個別の指導計画シートを活用した授業実践及び授業改善がなされている。



- 第1章 教育課程の類型化
第2章 自立活動とは
第3章 授業づくり
参考資料

【研究構想図】

